

人の宅地を見らにそ攝事祈の人此居住せ
し地といひ見しを地内に古に王の社多義秋田郡
の下に居る
又あり尚村の西田畠の中に山王の神祠あり吹
浦村秋の祭後尚社より七日のあきあり吹浦
の祭
七日よりつる申の日より又又氏子あ洋に招れす頻
七日目のあき申の日とせり
月代仇をとくま六日は尚々夜氏子大幣
系龍大縄を飾りそ後人を揃めて祈事と
を聖朔又氏子系龍に

一上寺観音

上寺の観音の列尚阮院居住の地よりして

藤野河祖藤忌村の上にありな上寺と称
し又藤忌といふ一山の号を松懸山といふ
三十二坊あり上首を観音寺といふ院号を
光岩院と稱もち社記畧記より見しよりけし
三宮院寺つきの末派よりして二月十八日入
峯の作法あり阮院列して観音堂と巡る
堂のあに大幣を立田樂教曲あり元文年
中祓階を中下一位置口宣を入る辛櫃
木を出る事ハ大社考附録に記し傳れむ
畧之峯入堂ハ観音堂の上山林の中より有